

平成22年度 学校自己評価結果のお知らせ(7月末実施)

本校の4月からの取組について、職員、保護者、児童のアンケートやふり返しを実施しましたので、その結果をお知らせします。ご家庭や地域のご協力のおかげもあり、本校では不登校は見られません。学習や基本的な生活では、取組の成果が表れてきているものもありますが、まだ十分ではないものもあります。今後、学校では職員一同力を合わせて改善に取り組んでいきます。挨拶、家庭学習、家庭読書、生活習慣などご家庭や地域とも連携した取組を行っていきたく思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

教職員アンケートの結果

1. 生徒指導 A「十分達成」 B「ある程度達成」 C「どちらかという和不十分」 D「不十分」

重点事項	成果指標	A	B	C	D
不登校	不登校児童0の良好な状態維持	93	7	0	0
		100%		0%	
いじめ	いじめのない良好な状態堅持	73	20	0	7
		93%		7%	
基本的な生活習慣	正しい身なりをする (ネーム、安全帽、シャツ出し等)	25	56	19	0
	81%		19%		
	きちんと掃除をする (最後まで、すみずみまで、協力して)	20	60	20	0
	80%		20%		
自己有用感	自分から進んで元気に挨拶をする (朝、帰りの挨拶、友達同士、先生と、地域の人と)	6	50	44	0
	56%		44%		
	時間を守る (授業時間、休み時間、下校時刻)	31	50	19	0
81%		19%			
保護者連携	集団生活で生き生きと活動している	67	20	13	0
	87%		13%		
地域連携	生活プランニングや学級だより等を通して密接に連絡をとる	43	36	14	7
	79%		21%		
児童が企画した環境ボランティア活	P T A活動への参加	38	43	19	0
	81%		19%		
児童が企画した環境ボランティア活	外部講師、保護者等の招聘	7	67	13	13
	74%		26%		
児童が企画した環境ボランティア活	児童が進んで環境ボランティア活動に参加する (アルミ缶集め、ゴミの分別、牛乳パック回収等)	7	50	29	14
	57%		43%		

成果と課題及び改善策

- 今年度も不登校児童0人を維持している。
- 児童の基本的な生活習慣は、概ね身に付いてきている。
- △身なり、あいさつがまだよくない児童がいるので、学校で根気強く言葉かけをして指導していくとともに家庭での言葉かけも願います。
- △ボランティア活動への参加意識がまだ低いので、意識・意欲づけに繋がる言葉かけ・指導をしていく。
- △アルミ缶集めは保護者にももっと呼びかけ、子どもに参加させることで達成感が持てるようにする。

2. 学習指導 A「十分達成」 B「ある程度達成」 C「どちらかという和不十分」 D「不十分」

重点事項	成果指標	A	B	C	D
思考力・判断力・表現力を高める授業を旨とした授業改善	授業の中に適切な活用場を設定する	7	29	50	14
	36%		64%		
	板書・ふりかえり等を活用し、思考力・判断力・表現力を高める指導を工夫している	14	50	36	0
教科等指導力	言葉や図と組み合わせて根拠や方法をノートに書かせている	21	65	0	14
	86%		14%		
自己教育力	少なく教え、多くを学ぶ(学習課題の明確化、学習方法詳細確認)	0	29	64	7
	29%		71%		
基礎基本の定着	個に応じた夏季休業中の課題の選択	13	73	7	7
	86%		14%		
基礎基本の定着	漢字計算チャレンジ大会でパーフェクトを目指す	25	50	25	0
	75%		25%		
基礎基本の定着	単元末テスト・年度末テストが期待点(80点)を上回っている	0	67	33	0
	67%		33%		

学習への集中	意欲的に学習する子が増加 (授業中の姿勢・発言・思考)	29	57	14	0
		86%		14%	
学習用具	自ら準備し、忘れ物が減少 (授業の準備・提出物)	36	50	7	7
		86%		14%	
家庭学習	宿題に積極的に取り組む (低・中・高の目標時間、宿題の提出)	33	40	27	0
		73%		27%	
家庭読書	家庭で本を読む子の増加 (年間30冊以上)	54	15	23	8
		69%		31%	
教育課程実施状況	時数の確保 進捗状況 金沢・菊川スタンダードを確実に指導している	29	71	0	0
		100%		0%	
		60	33	7	0
		93%		7%	
各教科との関連を図った 「菊川学」の取り組み	他教科との関連を図り、総合的な学習の時間を指導する	38	46	8	8
		84%		16%	
		67	11	22	0
		78%		22%	

成果と課題及び改善策

○自分の考えをノートに書いたり、ノートの書き方を工夫したりする子が増えてきた。
○指導の工夫により、意欲的に学習する子が増えてきた。
△授業に活用する場を入れたり、伝え合いの工夫をしたりして思考力・判断力・表現力をより高めていく。
△反復練習により漢字や計算が身に付いてきているが、まだ十分ではない子もいますので、家庭学習や補充教室等で繰り返し学習させる。
△学習用具等の忘れ物は減少してきているが、まだクラスに数人程度忘れ物をする子が見られる。家庭にも言葉かけや確認の協力をお願いする。

3. 健康教育 A「十分達成」 B「ある程度達成」 C「どちらかというと不十分」 D「不十分」

重点事項	成果指標	A	B	C	D
運動への積極的な取組	進んで運動に取り組むような働きかけをする (外遊び、ピロティ遊び、体育館遊びの呼びかけ)	33	54	13	0
		87%		13%	
スポチャレの取組	体育の授業にスポチャレを取り入れる	42	8	25	25
	50%		50%		
	8の字の記録がゴールド以上の達成	0	22	33	45
		22%		78%	
基本的な生活習慣及び健康づくり	進んで歯科、眼科等の治療に努める 生活プランニングや学級だよりを通じて、早寝早起き朝ご飯を習慣づけている	15	39	15	31
		54%		46%	
		14	65	21	0
		79%		21%	

成果と課題及び改善策

○休み時間に、進んで運動に取り組む子が多く見られる。
△虫歯の治療率が低いため、懇談やお便り等で保護者の皆様にも呼びかけていく。
△スポチャレに進んで取り組んでいるクラスもあるが、全体としてはまだ低いので今後は学校全体で取り組んでいく。